



様式第4号（第6条関係）

平成28年 5月 10日

富士見市議会議長 津波信子 様

会 派 名 草の根  
代 表 金子 勝

### 行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

#### 記

- 1 期 間 平成28年4月26日
- 2 参加者名 八子朋弘、伊勢田幸正、勝山祥、今成優太
- 3 場所（行政視察地・研修場所）  
東京都荒川区役所
- 4 調査・研修概要
  - ・荒川区防犯カメラの設置及び運用に関する条例について
  - ・荒川区防犯カメラ等補助金交付要綱について別紙の通り
- 5 感想及びまとめ  
別紙の通り

## 4 調査・研修概要

### 視察地の概要

荒川区は平成 28 年 3 月時点で人口約 21 万人超 11 万世帯で、面積は 10. 16㎢。

最近の特筆すべき施策としては、「荒川区民総幸福度」、学校図書館の活用に力を入れた取り組みや平成 29 年 3 月に区役所近くにオープンする図書館・吉村昭記念文学館、子供施設が一体となった「ゆいの森あらかわ」の建設がある。

また議会も「通年議会」を導入しているなどの議会改革が行われている。

### 視察の概要

#### ○防犯カメラに関する条例制定の経緯

荒川区は平成 16 年に「荒川区防犯カメラ等補助金交付要綱」を制定し、町会等に対して、防犯カメラ設置の補助金交付を開始し、また区が主体となって犯罪が多発しているエリアや通学路等に設置を進めてきた。

こうして防犯カメラの設置エリアが拡大し、区民のプライバシーの観点から画像データについては厳格に保護する必要があることから、平成 25 年に世田谷区等の先に制定されていた条例を参考にし「荒川区防犯カメラの設置及び運用に関する条例」を制定した。

#### ○補助金の運用状況

平成 28 年度だけで 55 台に補助が行われた。東京都の補助金も合わせると実質約 5 万円の自己負担で防犯カメラの設置が行える。

補助率は年々上げており、設置だけでなく保守管理・電柱使用料・電気代等の維持管理費についての 2 分の 1 の補助も始めた。また古い機種は画素数が低いことから更新も行っている。

#### ○長期的な計画等

議会の指摘により、「街頭防犯カメラの設置方針」を現在策定中である。これは補助金があるものの 5 万円の自己負担がある中、お金のある町会とない町会で設置に差が出ており、区として「空白地帯」をどう対応するかなどの全体の見解をまとめるものである。

#### ○防犯とプライバシーとのバランスの考え方について

防犯カメラについてはプライバシーを心配する声よりも設置を求める声の方が圧倒的に多く、苦情等はほとんどない状態で、平成 27 年度に実施したアンケートによれば、92%の方が防犯カメラは必要と理解を示している。

プライバシーへの具体的な配慮策としては、街頭に設置した防犯カメラが個人の家の中を写さない様そもそも設定・処理してあり、公道上のみしか記録しないように設定されている。なお、データの保存期間は7日間である。(7日間の根拠は、都の補助金規定による)

#### ○学校等への防犯カメラについて

平成18年度に幼稚園・小中学校の敷地内に127台を設置し、平成27年度に更新(画素数アップ)及び増設を図り、現在132台が稼働している。これは東京都の補助金を活用している。

また平成26年度に3カ年計画で小学校の通学路への設置を開始(都の補助金を活用)し、すでに68台を設置し、平成28年には52台を設置する。1校5台の防犯カメラが割り当てられ、PTAと調整して決定される。また地域の町会にも投げかけ、効率よい設置が行われている。課題としては無電柱化が進んでいる地域があり、そうしたところは公共施設のほか民間マンションに打診するといったことが検討されている。

保育所についても平成20年から都の補助金を活用して設置が行われ、合計123台が設置されている。自己負担があることから私立には未設置のところがあるといった課題がある。

#### ○条例制定の効果

荒川区の刑法犯認知件数の37%を自転車盗が占めており、これの減少が課題であった。

防犯カメラの設置が進められたことにより、平成21年に3309件だった刑法犯認知件数が、平成27年には2385件に減少し、ほぼ防犯カメラの台数が増えることに反比例して犯罪が減っている統計になっている。

また防犯カメラの設置により、15件の検挙につながった実績があり、「検挙が最大の犯罪抑止」につながっている。

#### ○その他

- ・昨年から公園への設置が議会で議論になっており、公園への設置が進められている。
- ・防犯カメラの設置場所は、警察の要望だけ聞くと、犯罪捜査の観点に偏ってしまいがちであり、区民のニーズとは合致しないこともある。設置場所は町会等区民の声を聞くことが重要だった。
- ・その他の治安対策の取り組みとして、振り込め詐欺対策として自動通話録音機2000台を区の予算で購入。無償で取り付けも行い、現在約1500台が申し込みを受け、設置済みである。
- ・施錠をしていない自転車に対して、ワイヤーロック風の紙を張り付ける取り組みが行われている。これは夜見るとカギに見え、盗難抑止の効果もあり、また啓発のチラシにもなっている。

## 5 感想及びまとめ

荒川区は比較的23区でも治安のよい地域であるが、自転車盗難などの犯罪に対して危機感を持ち、防犯カメラの設置など具体的な取り組みを進めている。

公園への防犯カメラ設置については「23区でどこもしていない」と執行部も当初は消極的だったが、議会の粘り強い働きかけを受けて、23区で初めてとなる設置に踏み切った。

今回の視察では、防犯カメラ施策を推進した議員（議長）からもお話を伺うことができた。議会の側から区全体の設置指針の策定など具体的な指摘・働きかけを行って実現している施策も多く、こうした点を富士見市にも反映させていきたいと思う。